

# 協力隊通信

2021  
Vol.1  
2月

はじめまして。一月より地域おこし協力隊として愛知県より来ました、田中幸治(たなかこうじ)と申します。

今までは大学などで生き物の野外での生態や行動を研究していました。特に爬虫類・両生類が専門で屋久島などで調査をおこなっていました。

爬虫類・両生類といつてもどんな生き物が当てはまるのかよく分からないう方も多いと思います。が、爬虫類は、ヘビ、トカゲ、カメ、ヤモリなど、両生類は、カエル、イモリ、

サンショウウオなどになります。

地域おこし協力隊としては、上北山村の自然環境を調査し、その魅力を発信したり、結果を環境教育や保全活動、エコツアーなどに活かして、村のエコパークとしての役割を担うお手伝いができればと思っています。

みなさま、村で見かけた色々な生き物のことを、ぜひ、教えてください。



1. カワニナ



2. トビケラ類の幼虫



3. カゲロウ類の幼虫

ココにいます

\* 写真撮影の後、すべて元に戻しました

協力隊としての本格的な活動はまだまだですが、春に向けての準備のため、林道や溪流を見て周りたりしています。その中で、向谷川のホタル観賞場所の沢に実際に降りて、川の生き物の様子を観察してみました。冷たい水の中で、様々な水生生物が確認できました(写真1、2、3)。その他にも、ヘビトンボとカワゲラの幼虫も確認できました。カワニナは、数は多くありませんでしたが、ある狭い範囲だけで見つかり、何らかの環境要因を好んでそこにいるのか、偶然なのか、とても興味深いところですよ。これらの水生生物の生息は、川が「きれいな水」(水質階級Ⅰ)や、「ややきれいな水」(水質階級Ⅱ)であることを示しており

この素晴らしい自然環境をみなさまと共に守っていききたいと思っています。

今回、ホタルの幼虫は発見できませんでした。が、今後も観察を続け、保全活動もおこなっていきつもりです。まずは、春になったら、幼虫が蛹になるための上陸を観察し、どのような場所を利用しているか確認したいと思っています。

ただ、残念なことに、空き缶やペットボトルなどのゴミが散乱していました。このままでは、ホタルを見に来た方も、がっかりすると思います、役場の方と共に回収いたしました。

爬虫類や両生類だけではなく、ホタルの調査や保全活動、川の清掃活動など、今後も定期的におこなっていききたいと思っています。



散乱していた空き缶やペットボトル

大型ゴミ



興味をお持ちの方、ご協力していただける方、その他どんなことでもお気軽に声をかけていただけると嬉しく思います。今後ともよろしくお願いたします。

こちらが頭

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、スペースが余ったのでご紹介。  
別の川で見つけた三葉虫のような不思議な見た目の生き物。カブトエビに近い甲殻類かと思いましたが、調べてみると、ヒラタドロムシ類という甲虫の幼虫でした。これも「ややきれいな水」(水質階級II)の指標生物です。成虫は、小さなコガネムシのような甲虫です。



ヒラタドロムシ類の幼虫